

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	特別支援教育指導法						授業形態	講義	
科目コード	750144	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	瀬戸口 裕二、野村 宗嗣、本田 和也								
授業概要	特別支援教育における指導の基本について、アセスメント、指導技法、指導実践に関する基本的事項について講義および演習の形式を取り授業を展開する。								
関連する科目	知的障害児教育 知的障害児の心理と発達支援								
授業の進め方 と方法	授業は、資料やプレゼンテーション、多様な動画や記録などに基づいて展開します。この授業では、必然性や根拠に基づいて、できるだけ学生自らが推論したり協議したり思考を深めていったりすることを目的として、グループでディスカッションする経験を通して、学習の深化を目指します。 本授業は、質問や協議機会が多様に用意されています。また、授業中に様々な情報を検索したり確かめたりすることが推奨されています。発見された事実や協議された内容については広く共有される機会が保障されています。								
授業計画 【第1回】	知的障害児のアセスメントと指導法								
授業計画 【第2回】	代表的な知能検査								
授業計画 【第3回】	WISC-IVの結果とその理解								
授業計画 【第4回】	知能検査以外の心理検査								
授業計画 【第5回】	心理検査結果の活用・まとめ								
授業計画 【第6回】	個に応じた指導が求められる背景と障害に対応した指導								
授業計画 【第7回】	コミュニケーションとSST								
授業計画 【第8回】	視覚とビジョントレーニング								
授業計画 【第9回】	肢体不自由と感覚遮断								
授業計画 【第10回】	臨床動作法								
授業計画 【第11回】	心理的安定と認知行動療法								

授業計画 【第12回】	行動と応用行動分析（ABA）
授業計画 【第13回】	動作と感覚統合法
授業計画 【第14回】	言語と言語教育
授業計画 【第15回】	多様なニーズに応じた指導法
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育におけるアセスメントの意味を理解する。</li> <li>・主に発達障害者に利用される指導法について理解する。</li> <li>・主に肢体不自由や知的障害者に利用される指導法について理解する。</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	毎回の授業でグループディスカッションや発表などの多様な授業形態を展開します。そのためには、授業以前の準備が求められます（30分程度）。
授業時間外の学修 【復習】	前時の学習のポイントについて、参考書やインターネット情報等を活用して再確認したり、検索された情報を下にして自らの学習を拡大したりする（30分程度）。
課題に対する フィードバック	小グループごとの発表課題は、自己評価や相互評価が得られる機会をもち、補則解説や教員による評価をフィードバックする。
評価方法・基準	授業での発言や提出レポートの内容(40%)、および最終試験またはレポート(60%)で総合的に評価する。最終試験においては、事項の暗記よりも、特別支援教育に関する理解の程度や問題意識を評価する。
テキスト	
参考書	
備考	